

## 企業紹介

有限会社 不二熱設備

顧客との対話を重視することで、限られた予算の中でも顧客の要望にあった空調設備を実現。500万円の初期投資で年間150万円の燃料コストを削減した事例も存在する。

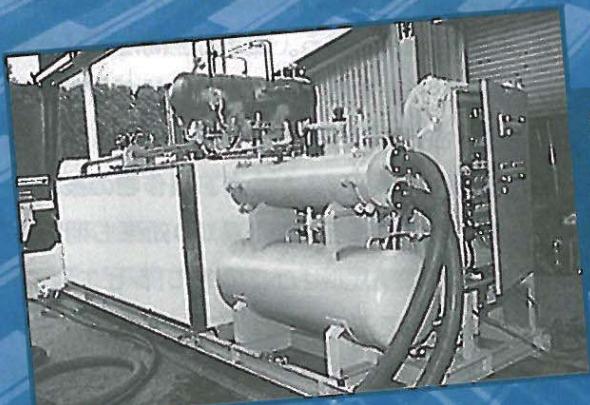
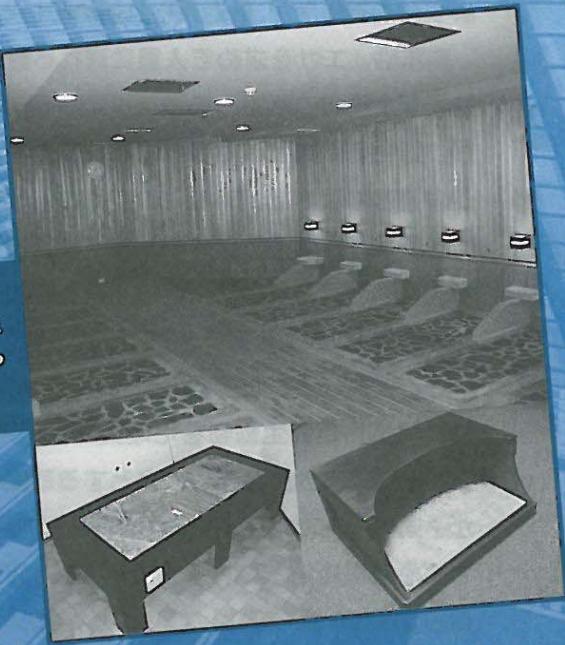


設備更新前



設備更新後

空調設備工事の技術が応用できるという岩盤浴施設。同社は、岩盤浴施設の運営プロデュースのほか、伊豆半島で採掘される“伊豆石”を使った、岩盤浴のベッドや足湯商品も販売している。



通常3日が限度といわれる鮮魚の鮮度保持期間を5日に延ばし、通常の氷で保存したものより味も良いとされる“窒素氷”。同社では、窒素氷製造プラントの販売契約を結び、地元沼津港の魅力をさらに高めていく考えだ。

**有限会社 不二熱設備**

<http://www.fujinetsu.com/>  
<http://www.build-aircon.com/>  
<http://www.stone-spa.jp/>

沼津市に本社を置く(有)不二熱設備は、創業時から空調・冷蔵設備工事を主要事業としてきた。取引先である大手製薬会社の研究棟での空調設備工事から得た経験を活かし、近年では、岩盤浴施設の運営プロデュースや岩盤浴ベッド・足湯商品の販売を手がけるほか、昨年12月からは“窒素氷”生産プラントの販売にも乗り出すなど、今後の成長が期待される企業である。

### 顧客との対話を重視することで 真のニーズを掴む

同社の設立は昭和59年であるが、現代表の堤社長は、平成14年7月に第三者の先代から代表を引き継いだ2代目となる。伊豆出身の堤社長は学卒後、東京で空調設備関連の会社に勤務。家業も同業を営んでいたことから、父親の会社を引き継ぐことも可能であったが、はじめから自分らしさが發揮できる会社を経営したかったことから、父親の知り合いだった同社の先代から会社の権利を購入して引き継いだ。

同社は、創業当初から事業用の空調・冷蔵設備の設計・施工・メンテナンス業を主体としており、堤社長が引き継いだ当時は、小規模ながらも、その技術力の高さから一定の固定客を持っていた。その中には大手製薬会社の研究機関も含まれており、同社の技術力は、特殊な環境下での繊細な空調コントロールが求められる研究棟内のクリーンルームで磨かれていったという。

空調設備の設計・施工において同社がもっとも重視していることは、顧客とのコミュニケーションである。空調工事では、たとえば、室内にある一定の温度にしたい

場合でも、室内の一部分をその温度にするのか、それとも室内全体についてなのかななど、顧客の求める仕様は多種多様に及ぶ。こうしたことから同社では、顧客と繰返し対話することで、本当のニーズを掴んでおり、その結果、限られた予算の中でもっとも顧客が満足できるプランを提案することが可能となるのである。

また、同社は従業員数こそ3名と少ないが、分業体制を取ることで、3名ですべての案件に対応している。見た目は小さいが、その分、親密さを打ち出することで、「駆け込み寺的に何でも相談される会社」を目指している。さらに、「小さな会社だからこそ、常に自ら発信しなければならない」と感じ、ベンチャー企業の集まりや異業種交流会などに積極的に参加し、情報発信に努めていったという。こうした結果、取引先を徐々に広げ、同社の現在の営業エリアは沼津市近隣にとどまらず、静岡市内や愛知・神奈川などの他県にまで及び、3年前からは、カラオケボックスなどを運営する大手企業との取引も始まった。

### 自社の持つ技術力を応用し 岩盤浴施設の運営や商品開発に挑戦

これまで培ってきた自社の技術力に付加価値を加えたいと考えて5年前に始めた事業が、岩盤浴施設の運営、岩盤浴商品の開発だった。当時、岩盤浴がブームとなっていた時期でもあったが、堤社長が注目したのは、岩盤浴などの温浴施設は温度や湿度のコントロールが必要になるなど、同社が持つ技術が応用できることにあった。

また岩盤浴に使用する石は、伊豆半島で

**大手製薬会社の研究棟で培った空調設備工事技術に  
さまざまな付加価値を加えることで自社の事業領域を拡大**

## 有限会社 不二熱設備

<http://www.fujinetsu.com/>  
<http://www.build-aircon.com/>  
<http://www.stone-spa.jp/>

採掘される“伊豆石”。その遠赤外線効果に着目し、伊豆石を使った岩盤浴施設やベッド、足湯商品を開発した。伊豆石は他の石よりも低い温度で発汗を促すことができるといい、当社の施設・商品は、身体に負担がかからず高齢者の方でも安心して利用できるようになっている。静岡市内で3年間限定で運営した岩盤浴施設では、浜松医大との共同研究も実施、上記の効果が認められており、今後は入浴に手間のかかる介護分野での利用拡大に期待がかかる。

### 会社を支えるのは地域の発展と捉え “窒素氷”で沼津港の魅力を高める

堤社長には、「地域の発展なくして会社の発展はない」という持論がある。最近、地方の疲弊が社会問題化する中、地元沼津の今後についても、自社が貢献できることはないかを模索してきた。そこで注目したのが、釧路市内のメーカーが開発、特許を取得した“窒素氷”だった。窒素氷とは、窒素を注入した水を凍らせたもので、鮮魚の酸化を防ぐ効果があり、通常の氷なら3日程度の鮮度保持期間が5日程度にまで延びるとされる。鮮魚の販路拡大や輸送コストの削減が可能となるだけでなく、通常の

水で保存したものより味も良いという。

堤社長は、この窒素氷について、自社の持つ空調・冷蔵設備技術を活用するだけでなく、地元・沼津港の持つブランド力をさらに高める商品だと判断し、昨年12月に、静岡・愛知・神奈川3県における窒素氷の製造プラントの独占販売契約を結んだ。このプラントは、既存の製氷装置への後付けや、漁船にも設置可能とのことで、沼津魚市場が導入を検討しているほか、他からの引き合いもあるという。

「お客様の事業を伸ばすために、お客様にとって何がメリットになるのかを共に考えていきたい」と語る堤社長の夢は、同じような志を持ち、共に成長し合えるという考え方を共有できるクライアントを全国に持つことである。その実現のためにも、3年後に5億、5年後に20億円の売上目標を掲げ、さらなる飛躍を胸に期している。空調設備工事で培った技術力に、さまざまな付加価値を加えることで顧客対象を広げて成長を続ける同社が、顧客のために、そして地域のために、これからどのような分野に挑み、事業を拡大させていくのか。今後の動向が期待される。

研究員 大石彰男  
Akio Oishi



#### COMPANY DATA

所在地	沼津市大岡900-2	売上高	8,000万円（平成22年度）
代表者	堤 昭人	事業内容	空調・冷蔵設備の設計・施工・メンテナンス、岩盤浴施設の運営プロデュース、岩盤浴商品の販売
創業年	昭和48年	T E L	055-922-5510
資本金	300万円	F A X	055-922-5113
従業者数	3人		

有限会社 不二熱設備  
代表取締役 堤 昭人